



市長のみなさん、座り心地はいかがでしょうか。

4人の新市長が誕生？！

広報野々市特別企画『市長体験会』

市制施行10周年記念号（令和3年11月号）の広報紙で、クロスワードパズルの景品として企画した市長体験会を12月27日（月）に開催しました。市長との名刺交換に始まり、市長からの業務説明や決裁体験など、普段はめったに立ち入ることのない市長室での体験を通して、参加した4人は市長の仕事や市政への理解を深めました。のっティを姉妹都市ギズボーンへ派遣する仮の起案に押印した山内さんは「重要な決断をする市長の仕事は大変だと思った」と話してくれました。

みんなで作ろう防災ののいち

防災・減災プロジェクトSoRA 防災パネル展

水害による被害などを伝える防災パネルを金沢工業大学の学生で組織する「SoRA」が作成し、1月15日（土）～30日（日）に情報交流館カメリアで展示しました。「SoRA」は地元内会との防火パトロールや避難所運営訓練、防災教室などを行う団体で、現在16人が在籍しています。今回のパネル展では、作成したポスター4枚とチラシ2枚を展示しました。展示準備に参加したメンバーの青柳さんは「身近な川の危険度を知り、防災意識を持つきっかけにしてほしい」と話しました。



無意識にズバリ！！

上野千鶴子氏講演会

文化会館フォルテで1月10日（月・祝）、市文化協会が（公財）いしかわ県民文化振興基金助成事業「文化力を磨こう！」の一環として、石川県に所縁のある東大名誉教授で社会学者の上野千鶴子氏を招き文化講演会を開催しました。上野氏は「性差別の問題では、状況を見過ごすことが新たな差別を生む」と話しました。また野々市市での男女共同参画の進歩についても言及。幅広くユーモアの利いた話に、聴衆の笑いを誘う場面もあり、有意義な講演会となりました。



住みよいまちへの思いを伝える

新春市長と語ろう

市女性協議会は毎年1回、まちづくりに関して日々思っていること、聞きたいことを市長に直接尋ねる場を設けています。1月13日（木）、情報交流館カメリアで開催された会に15人の会員が参加し、交通安全やコロナワクチンに関すること、社会の多様性など、多岐にわたる意見が出されました。これを受けた栗市長は「皆さんの前向きな意見が、住みよいまちづくりや野々市の元気につながっている。これからも皆さんの明るい提案や協力を期待しています」と答えました。



市中央公園で花火大会開催を！という夢いっぱいの提案も。

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課（☎ 227-6056）

1年の抱負を筆にのせて

新春 竹筆書道パフォーマンス＆竹筆体験会

書道パフォーマンスと竹筆体験会がにぎわいの里ののいち カミーノで1月7日（金）に開催され、約40人の来場者が毛筆とは一味違う竹筆の魅力に触れました。

竹筆は、軸から穂先までの全てを竹から作った筆です。穂はのみで削り髪の毛ほどに細くしたもので、竹の種類によって穂先の“ねばり”が違うそう。毛筆に比べて墨汁の保持力が高く、一度墨を付けると長く書けることも特徴の一つです。

書道パフォーマンスでは、縦4帖横2帖の大きな紙に、野々市公民館書道サークル講師の野田美代子氏と竹筆作家の岩下信正氏がそれぞれ「賓（たから）」と「虎」と書き上げ、会場を湧かせました。また、パフォーマンス後には、大きな紙の余白に参加者らが「笑って生きる」「大好き野々市」など新年の抱負や好きな言葉を寄せ書きし竹筆体験を楽しみました。



①大迫力の作品の前で記念撮影。
②軸も穂も同じ1本の竹から作られています。
③野田先生による大筆を使ったパフォーマンス。
④竹筆体験会では、参加者が思い思いの文字を半紙に書きました。



フォルテ児童合唱団のステージには鉄琴などの楽器も登場。

美しいハーモニーでときな時間を みんなで歌おう Xmas 交流演奏会

12月17日（金）、にぎわいの里ののいち カミーノで野々市市民合唱団、女声合唱団コ一口・カメリア、フォルテ児童合唱団によるスペシャルコンサートが開催されました。3団体ともコロナ禍で普段通りの活動ができなかつ、久しぶりのステージでしたが、「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」といったクリスマスソングや、日頃の練習曲を美しい歌声で披露しました。合間にはみんなで歌う全体合唱の時間もあり、出演者・客席ともに歌う楽しさを満喫するひとときになりました。



サポートは園開放事業「なかよしの日」で相談活動を行います。

笑顔輝く家庭づくりのお手伝い

家庭教育センター養成講座開催

子育て中には、楽しいことや嬉しいこともあるけど、時には大変なことや辛いこともあります。そんな時に相談出来る人がいるのを知っていますか。野々市市家庭教育センターは、子育て中の人の悩みに寄り添い、身近な相談相手として活動しています。令和4年度の活動に向けて、新しい人材の養成と現センターのフォローアップ研修を兼ね、この日は臨床心理士の寺井弘実氏から「子どもの心の育ちに応じた大人の関わり」の講座があり、皆熱心に受講していました。